

個別教育計画(Individualized Education Program (IEP))

個別教育計画(Individualized Education Program (IEP))とは?

お子さんが特殊教育やその関連サービスを受ける場合、個別教育計画(IEP)を立てる必要があります。IEPは子供のそれぞれの能力とニーズに対応し、一般の授業科目をどのように受けることができるかを説明するものです。IEPには、子供の学習方法や、学習したことをどうすれば最大限に活用できるか、また、より効果的に学習できるよう、教師やサービス提供者がどのように支援できるかについて説明されます。保護者も、お子さんのIEPチームの大事な一員です。保護者と、子供の担当教師、他の教職員が協力して、その子供のIEPを作成し、これは年に1度、見直されます。

知っておくべき事柄:

- IEPチームは、保護者と、生徒やカリキュラムに関する知識や専門的経験を有する学校職員で構成されます。保護者と学校は、専門的経験や知識を提供できるほかの人もチームに参加させることができます。
- IEPミーティングの開催は、事前に書面で通知されます。この通知には、ミーティングの開催予定日、時刻、開催場所、開催の目的、参加予定者が記載されます。IEPミーティングは、両者にとって都合のよい日時と場所に設定しなければなりません。提案されている日時が都合が悪いようであれば、他の日時を提案してください。
- IEPミーティングは、保護者からの情報を元に、学校教職員によって開催され、お子さんの特殊教育および関連サービスに関する年間計画の作成へとつながります。IEPミーティングは少なくとも年に1度開催されますが、保護者や学校が要請した場合はそれ以外にも開催することができます。
- IEPには、話し合われる必須項目、およびチームの合意の上、お子さんの指導計画に含まれるべき、以下の項目が含まれます。
 - お子さんの現在の成績(最近の州および地域の実力テストや評価、お子さんの身体機能、発達および学業上のニーズ、一般的授業科目において障害がお子さんの学業にあたえる影響を含みます)。
 - お子さんの数値的な年間目標に関するステートメント(場合により目的も)。
 - 州および地域の実力テストにお子さんをどのように参加させるか。
 - お子さんの指導のために必要な便宜およびサポート。
 - 一般教育および特殊教育にお子さんをどのように参加させるか。
 - 提供すべき関連サービスおよび、学年延長(extended school year (ESY))の検討。
 - 高校入学者または16歳になる生徒については、移行計画には、中等教育後の活動についての移行サービスが含まれます。
 - これらの項目が完了したら、チームはどこでどのようにそれらのサービスを提供できるかを検討します。これは、サービス提供のための学級決め(最も制約の少ない教育環境(Least Restrictive Environment (LRE))とも呼ばれます)として書類に記録されます。
- IEPの用紙は、IEPチームによる決定を記録するように作られていますから、ミーティングの議事録を作成する必要はありませんが、学校によってはIEPの議事録を作成している場合もあります。議事録が作成された場合は、その議事録もIEPの一部として扱われます。
- 毎年、子供の成長の状況に合わせるため、IEPの年次見直しを行います。IEPチームは、子供の目標と目的を見直し、各分野における成長を検討します。お子さんの教育は、作成されたIEPに従って行われ、また、この年次見直しで決定された変更を反映して行われます。
- 年間目標と目的は、保護者も含めたIEPチームが子供の成長を評価できるよう、測定可能なものでなければなりません。IEPには、経過報告書をいつ、年に何回受け取るかが記載されています。報告書は、IEPを受けていない生徒と少なくとも同じ頻度で提供されます。目標および目的では、州のカリキュラム基準については説明せず、カリキュラム内で成長するため、また身体機能や学業、行動、発達面での障害に特有のニーズを満たすために、生徒が必要とする目標やスキルを確認します。

個別教育計画(Individualized Education Program (IEP))

ご家族のための助言:

- ✓ ミーティング前に以下のことを計画してください。
 - お子さんのために行うと良いことを書き出し、学校側とその情報を共有できるようにしましょう。
 - 他の生徒の保護者から、IEPミーティングについて話を聞いてみましょう。他の保護者の経験を聞くことにより、うまく準備をすることができます。
 - 忘れないように質問を書き出しておきましょう。
 - お子さんと話してください。学校での様子を尋ねてください。何か変えたいことはないか、学校でどのようなことを変えてもらいたいかを尋ねてください。学校で何が楽しくて、何がいやかを尋ねてください。何がほしいか、何が必要かを尋ねてください。
 - どのような時に、IEPミーティングにお子さんを同席させるべきかを検討してください。小さなお子さんはミーティングの一部にだけ同席させ、また、年長のお子さんはミーティング全体を通して同席させることができるかもしれませんが、高校からの他の教育への移行について話し合う場合は、その子供も同席させなければなりません。
 - 出席できない日時にミーティング開催が予定されている場合は、別の日に開催してもらうよう依頼しましょう。直接出席できない場合に、電話で出席できないかどうかについても、尋ねてください。保護者の出席はすべてのIEPミーティングにとって重要ですので、学校は保護者が出席できるようあらゆる努力を尽くす必要があります。
 - 以下の各IEPミーティング用の資料を読んで、準備をしておいてください。
 - ミーティングの前に昨年度の記録とIEPを見直します。
 - 事前に見直せるよう、お子さんの記録(書面)のコピーをもらってください。
 - 友人やIEPパディにミーティングに同席してもらうよう頼みましょう。
 - 保護者が期待することを学校側との間で共有するため、IEPミーティング用の議題案を作成します。
- ✓ ミーティング中は積極的に参加しましょう。
 - 必要なときは質問しましょう。相手の言っていることの意味がわからないときは、詳しい説明を求めましょう。
 - 感情は抑えましょう。IEPチームの他のメンバーの意見に賛成できないこともあるでしょうが、子供のために最善のことができるよう、他のメンバーとの協力に努めましょう。エネルギーは問題の解決のために使いましょう。
 - どのようにそこにたどり着くかという細目ではなく(保護者の立場)、子供のために何を望むか(保護者の関心)に焦点を合わせましょう。あなたが考えつかないすばらしいアイデアをチームの他のメンバーが考えつく場合もあります。
 - 同席しているIEPパディや他のサポート人員と話したい場合や、考えをまとめたい、あるいは気持ちを落ち着かせたい場合は、ミーティング中に休憩を入れるよう頼みましょう。
- ✓ IEPに納得できない場合は、保護者は署名する必要はありません。但し、同意できない部分について解決されるまで、プロセスを「凍結」するため、適正手続きによるヒアリングを要求しないかぎり、サービスはIEPに記載されているとおりに開始される場合があります。適正手続きによるヒアリングを要求した場合は、以前のIEPが引き続き有効となります。
- ✓ 変更が必要になった場合、あるいは子供の成長に関して質問がある場合はいつでも、別のIEPミーティングを要請することができます。要請は書面で行ってください。

詳細な情報については以下にご連絡ください。

Parent to Parent of Georgia
770 451-5484 または 800-229-2038
www.parenttoparentofga.org

Georgia Department of Education 特殊教育サービス支援局 (Divisions for Special Education Services and Supports)

404 656-3963 または 800-311-3627 に電話し、「特殊教育」("Special Education") に電話を回すよう伝えてください。

http://www.gadoe.org/ci_exceptional.aspx

Georgia Department of Education 実施マニュアル

http://www.gadoe.org/ci_exceptional.aspx?PageReq=CIEXCImpMan

(評価および再評価の章を参照してください。)

その他の情報源: 学区の **特殊教育ディレクター** にご相談ください。